

(別紙)

東北農業研究センターの 菜の花畑を公開！

農研機構 東北農業研究センターは、国内唯一の公設のナタネ育種機関として、北海道から九州までの各地に適応した、食用油として利用可能なナタネの品種開発を行っており、またナタネを活用したバイオマス研究にも取り組んでいます。このほか、当研究センターでは、麦育種試験圃場における連作障害防止等のための緑肥作物としても、大面積でナタネ（菜の花）を作付けしています。広い「菜の花」畑は、満開になると黄色いじゅうたんのようになり、残雪を頂く岩手山ともマッチして、来訪者の目を楽しませてくれます。

今年は5月18日前後に見頃を迎えると予想し、下記により「菜の花公開」を実施します。皆様に菜の花の景観を楽しんでいただきますよう、テレビ、新聞等で広くご紹介いただければ幸いです。

記

1. 日 時：平成25年5月18日（土）～19日（日）
両日とも 9:00～16:00(受付は15:50まで)
2. 場 所：農研機構 東北農業研究センター（盛岡市下厨川字赤平4）
3. 公開内容
 - 1) 菜の花畑
 - ・公開面積：420アール
 - ・作付品種：キラリボシ
 - 2) 研究成果等の紹介
 - ・平成24年度の主要研究成果（パネル展示）
 - ・バイオマス研究、麦、ナタネの品種開発などの紹介（パネル展示）
 - ・ナタネの搾油実演
 - ・ナタネの播種・刈り倒し機械展示
 - ・菜種油の食味試験（18日のみ、午前・午後各1回）
 - ・菜種油等特産品の販売
 - ・岩手県環境学習広報車による展示・体験コーナー（19日のみ）
4. その他
 - 1) 入場、駐車場は無料です。
 - 2) 駐車場へは係員が誘導します（所内道路は、通行規制があります）。
 - 3) 犬の散歩は禁止、構内は全面禁煙です。
 - 4) 後作の関係で、菜の花は公開終了後、順次刈り倒す予定です。

○東北農業研究センター菜の花公開ホームページ

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/list/2013/04/046472.html>

用語の解説

キラリボシ：東北農業研究センターが平成14年に育成した、日本で初めての实用栽培可能なダブルロー（種子中にエルシン酸を含まず、グルコシノレートの少ない）品種。東北中南部が最も栽培に適しています。

ダブルロー品種：種子中に含まれるエルシン酸とグルコシノレートの、二つ（ダブル）の成分が少ない（ロー）品種を言います。

エルシン酸：脂肪酸の一種で、ナタネの従来品種の種子から搾油した油に多く含まれます。動物実験において、多量に摂取すると心疾患を引き起こすことが報告されています。

グルコシノレート：ナタネの油を絞った後の油粕に含まれる成分で、油粕を家畜（鶏や豚）の飼料として利用したときに甲状腺肥大などを引き起こすことが報告されています。

緑肥：栽培している植物を収穫せずに、そのまま植物と土と一緒に耕し（すき込み）後から栽培する作物の肥料にすること。東北農業研究センターではナタネ、エンバク等を緑肥作物として作付けしています。

バイオマス資源：動植物や微生物などの生物由来の有機物を資源として捉える考え方で、その加工品や残渣、未利用植物なども含みます。エネルギーも変換可能な資源として多面的な利活用が期待されています。